

## 石巻市遊楽館避難所支援に関する報告

平成23年4月16日

前田 英武

平成23年4月7日～4月16日まで、遊楽館避難所で活動をしてきました。上記期間中の活動についてご報告するとともに、今後続けられる方に向けて注意喚起したいことを列記いたします。

### ◆石巻市の状況について

石巻市は、被災の仕方に特徴があります。沿岸部や旧北上川沿いは津波で壊滅的な被害を受け、家屋が流失、全壊した地域があります。我が目を疑うような光景が広がっています。そうした地域では、被災から1カ月が経過した今でも、電気、水といったライフラインさえ回復していない避難所で生活する方がいます。行方不明者の捜索もまだ十分ではありません。一方、その後の浸水で床上浸水し、1階部分などは家財に被害を受けたが、何とか2階等で生活している地域があります。そして最後に、海からの後方地で、地震の影響で家屋に損害が出たり、水やガス等のライフラインの復旧に時間を要しながらも、コンビニ、イオンやニトリなどで買い物ができ、マクドナルドでハンバーガーが食べられる地域があります。同じ市内で、あまりにも激しい落差があり、そのことが被災者にも影響を与えています。我が家を失い、家族を失い、危機的な中で避難所に逃げ込んだのに、車でほんの10分ほどの別の地域では、多少の不便はあっても自宅での日常が営まれています。我々が宿舎にしていた旅館すずやも、道路を挟んだ前の家は浸水でダメージを受け、家財や車に被害が出ていますが、すずや自体ほぼ無傷に見えます。すずやも4/7の震度6弱で再び断水し、4/12まで断水していました。でも、それなりの不便さえ我慢すれば、普通の生活ができます。

### ◆遊楽館について

訪れた当初は130名あまりの方が避難されていました。要介護状態の方、慢性疾患を抱えている方がいる一方で、被災はされたものの、ADLには支障がない方も混在しています。石巻市立病院の医師、看護師、その他のコメディカルを中心に、民間病院の医師、学会派遣の医師、市社協からのボランティアの介護スタッフ、NPO団体で組織されたボランティアの厨房スタッフ、他県から派遣されている行政職の方など、様々な方たちがそれぞれの立場で、被災者の方たちを支援していました。

遊楽館では、受診については送迎サービスがボランティアの手で行われていました。しかし、被災者のほとんどは車を持っておらず、山の中にある施設なので自由に買い物できる環境ではありません。欲しいものが手に入れない状況で、皆さん過ごしておられまし

た。また、現地のスタッフでも車を失った方がいて、臨時バスを利用して通勤してくるなど、不便な状況が伺えました。

我々は、市立病院SWが避難者に行っている支援のサポートを中心に、並行して行われていたローラー作戦のスタッフとしても活動を行いました。

#### ◆現地での留意点

- ・ 避難所で関わる被災者の方たちは、これまでに部分的に関わった様々な職種から、その都度同じような話を何度も尋ねられている場合があります。何度でも話を聞いてほしい方もいる一方で、そうしたことの繰り返しにうんざりしている方もいます。聞かれっぱなしで、具体的な支援に結び付いていない可能性もあります。先遣隊も一部の方から話を聞き、目の前のことには対応をしてきましたが、遊楽館の被災者を全体的に把握することができないままです。是非、そのことを優先に対応をお願いします。そして、支援を引き継ぐことを重々お願いします。
- ・ 避難所では、車等の移動手段がないばかりに買い物に出られず、欲しい物資を手に入れられない方もいます。コンビニ等で買い物ができますので、現地活動中も栄養をしっかりと取ってもらいたいと思いますが、被災者や現地のスタッフの皆さんへの配慮を忘れないようにしてください。
- ・ 被災者の方の反応は、がん等の告知を受けた方に似ている部分があります。否認、無気力、怒り等の反応が見られることがあります。人生で積み上げてきたものを一度に失い、しかし生き残ったサバイバーであることを意識した面接が必要だと感じました。
- ・ 石巻市では、支援を行っている石巻市立病院のスタッフ、市役所職員も多くの方が被災しています。そのことに留意して対応をお願いします。順調に事が運ばないこと、食事情が悪いこと、入浴やトイレのことなど、通常の我々の生活からいえば不便なことがたくさんありますが、現地の方たちは、今の状況よりももっと厳しい時期を乗り越えてきた方たちです。安易な愚痴や弱音は、少なくとも現地の方の前では言わないようにしてください。また、そうした危機的な状況乗り越えてきた方々に対する敬意を忘れないようにしてください。
- ・ 本部を頼ることも必要ですが、食事、寝る場所等、短期間のことですので自助努力が必要です。ここに来て余計にそう思いました。
- ・ 車での移動中は、AM ラジオを聴くようにしてください。津波警報等に注意してください。余震はまだ続いています。最大余震が今後襲ってくる可能性が残っています。自分の身を守れるように、自己防衛してください。また、大きな津波警報が出て避難するときは、車を置いて逃げるように。車で逃げようとして渋滞のため逃げ切れず、亡くなった方がたくさんいます。
- ・ 被災地域は、地盤沈下等で時間帯によっては浸水する所があります。また道路の状態も悪く、信号もありません。危険と分かっている地域に行くときは、自己責任で動い

てください。また、暗くなってからの行動は避けた方が良いでしょう。高速道路網から遊楽館にアクセスするには特に心配いりません。沿岸に近いエリア、旧北上川沿いでは注意してください。

- ・ 津波が来た被災地域では、天候が良いと粉じんが舞い上がっています。油断せず、マスクをつけていてください。また、ガラス破片等も散らばっていますので、しっかりした靴を履いてきてください。場所によっては、長靴があると安心です。